別紙３－３

＜ 運営推進会議における評価_様式例 ＞　※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人鳥伝白川会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護ゴン
所在地	（〒９０６－０００６） 沖縄県宮古島市平良字西仲宗根１４９６－７		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

・主治医と看護小規模多機能居宅介護事業所（看多機ゴン）の密接な連携の下、医療行為も含めた多様なサービスを 24 時間 365 日利用することができる。＊がん末期の看取り期・病状不安定期における在宅生活の継続支援、家族へのレスパイトケア、相談対応による不安の軽減、退院後の在宅療養生活へのスムーズな移行支援
・看護小規模多機能居宅介護事業所の介護支援専門員が「通い」「泊り」「訪問（看護・介護）」のサービスを一元的に管理するため、利用者や家族の状態に即応できるサービスを組み合わせることができる.

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価実施日	西暦２０１６年　12 月 21 日	従業者等自己評価実施人数	（14）人　　※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦年２０１６年３月２３日	出席人数（合計）	（　）人　　※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	□自事業所職員（４人）　□市町村職員（１人）　□地域包括支援センター職員（０人）　□地域住民の代表者（３人） □利用者（０人）　□利用者の家族（１人）　□知見を有する者（１人）　□その他（＿＿＿人）		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		・理念を簡略化し共有。ミーティングの継続共有の為、確認サインの実施。サービス対応にも対応。 ・施設内外研修の参加と伝達報告会の実施。火災時の流れを明確化	・理念を簡略化掲示し共有。記録物の確認サイン。施設内外研修参加し伝達報告会を行い情報の共有を行った。認知症実践者研修、ターミナル研修、心肺蘇講習会、事故予防研修に参加。ドライブレコーダー導入。薬説明表作成し共有。	・研修で学べる機会が増えた。施設内での他職種と連携ができている。・災害マニュアル作成中。避難所の収容定員、ベッドの有無、配給物の確認必要となる。 ・ヒヤリハット、事故報告書書式の検討と職員全員で検証し気づきと予測能力を養う。
Ⅱ.サービス提供等の評価	１.利用者等の特性･変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	・家族会の開催 ・他機関へ当施設の情報発信。医療依存殿高い方の予測と対応の共有	・家族会の実施。ゴン便りの自治会回覧。医療依存度の高いケアは主に看護師対応し終礼、朝礼で状態報告と対応について情報共有。	家族会実施したが、参加率３割。日程調整、議題を集う等課題が残った。家族アンケート実施家族会増やしての希望かあった。新年度回数増やす方向で検討 医療依存度の高いケアも介護看護ペアーで行う等課題あり
	２．多機関･多職種との連携（評価項目 28～31）	・宮古病院主催の在宅支援会議、訪問看護連絡会に参加し他機関との連携を蜜にしていく。	退院調整会議の実施。担当者会議で他職種と情報共有。定期診療の同行 ・運営推進会議での他職種の介入で困難事例の支援相談をした。	・他職種介入で困難事例改善 提携病院の会議等に定期参加できず、勤務調整し他職種で参加できる体制づくり。
	３.誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	・地域にゴン新聞を配布し施設内の様子を知って貰う。 ・ターミナル期、看取り期の介護の係り方と視点の勉強会	・自治会長に新聞の回覧を依頼。地域行事敬老会の見学。利用者住居地の敬老会参加・ターミナル看取りの研修会参加 伝達講習を行った。	施設内にとどまらず行事に参加し、地域の方々との交流を図ることができた。運営推進会議で困難事例の相談で改善された。今後も相談窓口として活用したいい
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		・モニタリング強化、短期目標を立案して達成感を得るプランの作成	・施設、自宅での様子を確認プラン変更が伴うようなら他職種と情報共有しモニタリング開始した。	継続的な目標となることが多いがゆっくり目標に向け今後も支援していく。 短期目標を立てる。誰もがわかりやすい目標と介入の仕方の共有方法の工夫が必要。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		1、防災マニュアル作成中。 2、ヒヤリハット、事故報告件数増加があり情報共有不足が考えられる。スタッフ間で検証し発生を未然に防ぐことが課題である。	① 避難場所の実態調査と受け入れ状況の確認が必要。 ② ヒヤリハット、事故報告書の書式を変える。報告書が出たら、その日に報告者が発表し検証し個人意見を別紙に記入。安全委員を儲け再発防止に努める。基本的介護手順の見直しと基本の状況の確認。勉強会を実施。
Ⅱ.サービス提供等の評価	1.利用者等の特性･変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	1、介護は生活面を支えているが、基本的介護分野の習得の確認とマニュアル作成。看護は医療面を支えていくが、介護に必要な医療面のサポートと疾患についての勉強会の開催。看護計画、介護計画を立案後、担当同士確認し急な変化にも対応できるようにする。医療の必要な利用者は看護、介護の２名で対応し、人材育成につなげていく。	① ・育成計画の立案。 ・個別支援計画を担当スタッフに渡し、モニタリングを行い介護計画を立案
	2．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	地域老人クラブに参加し一角で健康相談や介護保険に関する悩み相談の実地 ・宮古病院主催の在宅情報支援会議へ定期参加し情報発信。 ・看多機ゴン独自のチラシの作成し、他機関へ情報発信。	・左記継続
	3.誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	1、H29 年２月喀痰吸引指導者研修(1，２号)看護師参加　喀痰吸引３号講習会、指導者研修参加。 2、高齢で要支援、要介護にもならず独居で生活をしている方の情報収集と地域包括につなげ孤独にならないよう支援	① 喀痰吸引修了者に対した育成計画(安全、感染、実施内容、報告、記録物)の整理。 ② 利用者の住居近隣者と顔見知りになる為、挨拶を心がける。地域行事に参加地域包括支援と情報交換を行い添道地域の高齢者情報の確認。
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		1、担当者会議出席し計画の見直し、ケアマネ、看護師、介護士と目標についての確認情報共有。短期目標の経過記録と評価日を決め継続できるようつなげていく。 2、家族会年２回を３回に増やし家族同士又スタッフとの交流を図り介護状況や抱えている問題の共有の場にしていく。支援計画やケア内容に対するアンケート調査実施し過半数異常のお方が満足されていた。	① 日々のケアカンファを活かし問題点、目標を明確にし取り組む。 ② 家族会年３回以上を予定。 家族や利用者の急な変更にできるだけ対応し、家族負担軽減、利用者の安全を図っていく。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表［事業所自己評価］

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
Ⅰ　事業運営の評価［適切な事業運営］							
（1）理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	○					✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] **・理念の簡略化し職員が常に確認できるよう掲示共有している。** ・地域包括への貢献が不明確					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○				✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] **・利用者の状態や家族介護の負担を考え排泄・食事・環境を整えている**					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
（2）人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		○				✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・研修に参加 ・業務マニアルが有る(今後疾患に対するケアマニュアル作成必要) ・受け持ちを決め介護士育成プラン検討					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	○					✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・年間育成計画には組み込んでないが、単発で内外研修参加しレポートで伝達報告会の実施					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	○					✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・朝礼、終礼、申し送りノート ・各職種ごとにミーティングの実施					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
（3）組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	○					✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者の対応で困難を要する事例など運営推進会議で相談しサービスの反映し利用者の食事面 ADL 面の向上になった					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	○					✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・乳幼児がいても働きやすい環境である。(就業規則に定められている) ・勤務体制(事前の希望休み調整、緊急の所用）配慮されている。 ・残業がないよう配慮。 ・研修は勤務扱い。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
（4）情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○				✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・各職種が必ず在中し、その時々の状態に応じ経過報告、観察視点の指示報告が迅速に行われている。ホワイトボートの活用。朝礼、終礼申し送りノートで共有 ・電子カルテがタイムリーに更新されず情報が確認できない(診療所事務に確認メールで対応)					
（5）安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○				✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者対応での気づきによるヒヤリハット、事故報告書 提出と検証。(検証に関しては、スタッフ意見を募り安全委員を新年度より設け、対策と継続評価を実施 ・ドライブレコーダーの導入(事故検証時)					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		・シュレッターが施設内にない(事務所にはある) ・ケアの手順書の使用 ・自宅に緊急時救急車を呼ぶときの利用者情報ファイルあり					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている		○				✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・台風時は独居、老老介護者などの泊まりで対応やレスパイト。職員は台風時、暴風警報発令時は自宅待機。出勤者は前もって決め、職員は共有メールで情報共有し利用者の受け入れの把握。 ・通報警報装置の設置により火災防災時の連絡が可能となった。災害マニュアル作成中					
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている		○				✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた 24 時間の
		[具体的な状況・取組内容] ・独居世帯の方で電話等通信できない方に緊急警報システム導入し、24 時間利用者が連絡できる体制を整えている。自宅診療に看護師が同席し家族					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		意見の確認と情報共有。 ・自宅での食事、排泄(オムツ)状況確認してアセスメントし対応している。					暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	○					✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・全体ミーティングで情報共有ができている。朝礼、終礼、申し送り簿で情報共有を行っている。					
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○				✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] **・担当者会議に参加** **・送迎時等家族と状態についての情報共有計画に反映** **・家族会の実施** **・個別ケアの実施**					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○				✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・生活リハを通し、維持回復向上を目指している。短期目標に組み込む ・利用者が住居する地域行事へ利用者と参加し利用者と地域との関係を確認。					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○				✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成
		[具体的な状況・取組内容] ・予測を踏まえたリスクを病状説明時に介護職に口答、申し送りノートに記載し情報共有。 ・看護職による介護職へのレクチャー実					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		施が今後必要(疾患について)					することが重要です
（2）利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	○					✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・日々のサービス利用において、熱、血圧、SAT の値、皮膚状態、表情、水分量食事量、睡眠状態より状態状況変化を早期に発見し計画に反映継続している。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○				✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者と家族と相談し利用者状態を考慮し、訪問と通いをメインとした対応を継続している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○				✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・担当者会議の実施参加。目標に向けた達成状況の確認。					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	○					✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提
		[具体的な状況・取組内容] ・訪問介護での生活自立面で支援(介護) ・医療面での対応を(看護師) ・今後も共同できる医療面は看護師がサ					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
		ポートし介護士を育成していく。					供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○					✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ミーティングや朝礼、終礼で情報共有 ・今後共同できる医療面は看護師がサポートし介護士を育成していく。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	○					✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の１つとして期待されます
		[具体的な状況・取組内容] ・体位工夫、食事形態、皮膚疾患のスキンケアのアドバイス。認知症の方への対応。 ・今後疾患について内部勉強会の開催					
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説		○				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価 よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
	明し、利用者等の理解を得ている	**[具体的な状況・取組内容]** ・開始時ケアマネより説明している。理解不足時はパンフレット等を使用し説明					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		看護 **[具体的な状況・取組内容]**・ケアマネが開始時、説明している。 ・必要時、看護師や介護士より ADL 向上に向けた働きかけや安全面を考慮しベッド低床の説明を行い理解を求めている					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・機器の取扱いのパンフレットを使用し説明。実際に行ってもらい確認。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表		○				✓ 「サービス提供への適切な反映」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している						について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者の意思を家族に伝え家族の意向も確認し、すり合わせし提供している。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○				✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・在宅継続が難しい困難事例は、家族と相談し決定している。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	○					✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の２つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医と家族との話し合いを儲け記録 ・利用者の希望を記録 ・死を受け入れている方には説明したいが、受け入れできてない方へは、家族に説明している。					
2. 多機関・多職種との連携							
（1）病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報	○					✓ 「利用者の円滑な在宅生活への

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している						移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・退院調整会議に参加。情報共有 ・診療情報書の共有、看護サマリーの共有 ・看取りのパンフレット作成予定					
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	○				・各自宅に救急車要請時の情報ファイルを準備してあるとあるが内容は？書面を1部渡す。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・各自宅に救急車要請時の情報ファイルを準備し救急時に誰もが使用できるようにした。 ・対応方針については主治医と相談し共有していく					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者につい	○					✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	て、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	・診療所―宮古病院の流れで連携 ・看護師常在にて急変時や夜間緊急時の体制が整っている。					
（2）多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○				✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
		[具体的な状況・取組内容] ・運営推進会議で推進委員の方に、利用者情報提供しケアについての提案を求め意見を頂いている。 推進会議の日程と自治会長、民生委員の方との都合が合わず欠席となることが多かった。住人代表者を現任自治会長、民生委員の方に選任して頂き次年度につなげて行きたい。					
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
（1）地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録につい	○					✓ 「誰でも見ることができる方法

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	て、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている						での情報発信」と「迅速な情報発信」の２つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・会議後は会議資料を配布職員間で共有できている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		○				✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] ・ゴン便りの発行と回覧 ・看護、介護の日には新聞に健康相談や介護相談を記載 ・イベント行事にチラシ配布や声かけを行い地域の方も参加して頂いた。 ・地域の行事開催に当たり一角を借りて血圧測定等の健康相談を実施したい					
（2）医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対				○		✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	象とした訪問看護を積極的に実施している	[具体的な状況・取組内容] 行っていない					対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施してないていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○				✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・特定喀痰吸引修了者１名にて、夜間の対応は、看護師呼び出し吸引を行っている。 ・喀痰吸引３号講習研修に介護３名 喀痰吸引指導看護師 3 名研修参加を予定している・ ・喀痰吸引指導者講習会 1・2 号 1 名参加 上記を終了することで現状より受け入れ体制が強化					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○		✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・日中は看護師常在し受け入れできるが、吸引や機器管理の研修勉強会の開催が必要 ・停電時のバックアップ充電が不安 ・現在受け入れ利用者はいない今後、受け入れの際に備え体制の整備や検討が必要					
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○					✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医と連携体制が整っている。 ・看取りや終末期に関して介護士も参加している。自宅での看取りを積極的に行い、訪問看護で家族サポートを行っている。 ・施設整備や環境を含め積極的とはいえない。個室がなく施設内での看取りは厳しい					
（3）地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が			○			✓ 「内容等の理解」について、その

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している						充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・理解し地域密着型施設として、イベント開催時の声かけによる参加。近隣者への挨拶を積極的に行っている。 ・近隣者から当施設が近所にあって安心できるとの声が聞かれる。 ・地域の老人クラブに参加し住人との交流を図り困っていることや介護情報を伝えて行きたい。 ・行政のケアシステム構築が不明					
② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○					✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
		[具体的な状況・取組内容] ・宮古島全域を受け入れ対象としている。					
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じ		○				✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
	て課題提起や改善策の提案等が行われている	[具体的な状況・取組内容] ・家族会を開催し、要望や課題の提案を行った。 ・困難事例では地域包括に相談助言を頂きサービス支援に活かしている。 ・宮古島医介塾に参加し多様な関係者とネットワークを活用している。					価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		○				✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがな
		・近隣住人や家族に挨拶を心がけている。 ・家族と食事、排泄について相談し日中の排泄状況や夜間の様子を互いに確認し向上に向け取り組んでいる。 地域で支えあうには利用者が地域や近隣でどんな存在であったのかを利用者、家族から情報を得て住み慣れた地域でその人らしい生活を支援していきたい。まず情報収集が必要					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない		
							い場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
Ⅲ　結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	１．ほぼ全ての利用者について、達成されている ②．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない [具体的な状況・取組内容] ・介護度の高い方や認知症の方は継続目標となるがゆっくり目標に向け支援している。		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	１．ほぼ全ての利用者について、達成されている ②．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない [具体的な状況・取組内容] ・24H 体制で緊急対応と訪問診療や外来通院に同席し情報共有を行っている。 ・利用者家族に対してアンケート調査実施予定3月		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	１．ほぼ全ての利用者について、達成されている ②．利用者の２/３くらいについて、達成されている ３．利用者の１/３くらいについて、達成されている ４．利用者の１/３には満たない ５．看取りの希望者はいない **[具体的な状況・取組内容]** ・利用者、家族の意見を確認し、状況変化ごとにキーパーソンと連絡を密にし安心して在宅で看取れるよう支援している。		✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「５．看取りの希望者はいない」